

二、声喩のうち擬音語より擬態語の方が使用度数が高い。この傾向はおおむね年齢上昇とともに顕著になっている。また擬音語の使用は年少児が比較的多く、擬態語の使用は年長児に比較的多いのはこれらの表現形態のパターン化の強弱の差に、その原因があるのではなからうか。質的にいっても年長児の擬態語表現は巧

みで正確である。

三、現実に取りこえない場面、つまりフィクションの場面では他の場面よりも直喩の使用度が高い。

四、声喩では擬音語が特定場面に集中し、擬態語は動きの多い活発な場面に多く用いられる傾向がある。
〔姫路短期大学〕

倉橋賞を受賞して

思いもかけませんでしたことで、それだけに驚きも大きく、何よりもうれしく存じました。実は大会の数日前から体調が思わしくなく、それを押して出席しましたので、後の学会行事を残したまま帰ってしまったのです。授賞式に参加できず、大切なご批評を伺うことができなかったことがかえすがえす心残りでなりません。

児童文化を、受け手側の視点から見なおしたい、というのが私のかねがねからの願いでした。ここ数年来の絵本の勉強から、そ

の受け手側の反応を調べることに強い興味をもつようになったのですが、絵本は多くの要素が複雑に有機的にからまりあって全体的な効果をもつものですから、受け手の反応といっても、それをつかまえることは方法的に非常にむずかしいことでした。めくら蛇におじずとはこのことでしょうか、ともかくこの二、三年、私

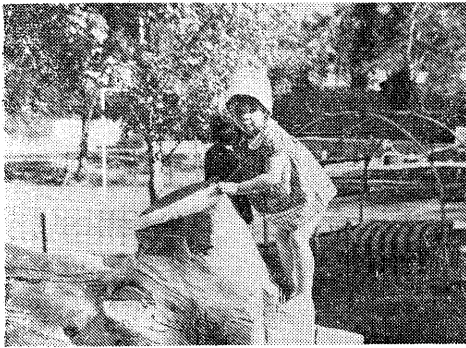
なりの方法で一歩二歩のあゆみ出した所だったので。
今、ここに四十巻あまりの五号テープが並んでいます。冬の日の午後、教室の片すみや保育室で子どもと並んで絵本を見たもの

でした。赤い、小さな手でページをめくる子どもたちの姿が今も目に浮かびます。なかなか絵本にのってくれず、アノネー、アノネー、ワカラヘンとくり返す幼稚園児、絵におかまいなしにしゃべりまくるかと思うと、すぐあきてシンドイカライヤーといい出す四歳児、一ページごとに話を完結させてしまう子、奇想天外な話をでっちあげの子、整然と過不足なく話を進めていく子、八十人がそれぞれ自分なりのやり方で自分自身の投影を、文のない絵本に行なっているのだなあという思いにかられたことでした。

録音テープの文章化も一仕事でした。一言一句聞き逃すまい、聞き違うまいとすればこれはこれで大変な難作業でした。巻き戻し、巻き戻して、同じ所を何度聞きなおしたことでしょう。しかしテープを聞きながら思わず吹き出したこともありましたし、一人ひとりの子どもの顔やようすがありありと思いつき出され、緊張の中に、表情のやわらぐこともたびたびでした。今、ここに並んでいるこのテープ、それは何にも代え難い私の宝です。

このたびの発表は、資料不足、統計処理の不備、大人との比較、など方法上の不満足な点が多いことは私自身よく心得ております。数多くの研究発表から選ばれて賞をいただいたことは、今後の研究をしっかりとやりなさいというおぼし召しと解し、ありがたく頂戴いたします。皆様どうもありがとうございました。

オーストラリア便りより



自然木を使った遊具

50ページ参照